

## 2002年度上半期を振り返る

## 第23期中間決算報告

2002年4月1日～2002年9月30日

- 2002.4 有効求職者数が300万人を突破。309万6000人(厚生労働省発表)
- 有効求人倍率052倍に上昇(厚生労働省発表)
- 2002年版、競争力ランキング 日本、世界30位(国際経営開発研究所)
- 2002.5 サッカーW杯開幕
- 有効求人倍率053倍に上昇(厚生労働省発表)
- 経団連と日経連が統合し「日本経済団体連合会」が発足
- 2002.6 新設住宅着工戸数、10万1502戸と2カ月連続で増加(国土交通省)
- サッカーW杯、ブラジル代表、史上最多の5度目の優勝
- 2002.7 有効求人倍率054倍に上昇(厚生労働省発表)
- クイック人材センター東京 移転
- 大相撲 朝青龍関が大関に昇進
- 中村俊輔選手、セリエAのレジーナに移籍
- 稲本潤一選手、イングランドプレミアリーグのフラムに移籍
- 2002.8 第84回全国高校野球選手権、明德義塾が優勝
- ヨーロッパ各地で大水害
- アゴヒゲアザラシ出現 たまちゃんフィーバー
- 首都圏マンションの発売、前年比42.1%増(不動産経済研究所)
- 全国133銀行の02年3月期の不良債権総額は、43・2兆円(金融庁)
- 2002.9 完全失業率(季節調整値)は5.4%(総務省)
- 牛肉偽装事件

私たちは、  
景況の厳しい中にあっても  
足元を固めながら、  
次の飛躍のために投資していきます。



代表取締役社長  
和納 勉

Q

メイン事業の求人広告は  
景気に影響されますか。

A

もちろん影響されます。パートやアルバイトの求人広告は増加していますが、今まで大量に中途社員や派遣社員を募集していた企業は広告予算を絞っています。ただ、この景況の中でも成長している中堅企業やベンチャー企業はある訳で、そういった会社への新規開拓の取組み強化や人材採用の面で応援していきたいと考えています。

Q

人材紹介部門に投資されていますが、  
見通しはどうか。

A

上のご質問にも関係するのですが、当社の次の収益の柱と考えて重点的に投資しています。

人材紹介部門で最も重要なコンサルタント（当社ではキャリアコンサルタントと呼んでいますが）を充実させています。前期末は18名でしたが、今期末は30名を予定しています。また7月に東京事業所を移転し、事業環境を整備し、転職希望者のデータベースを大幅に増やして、売上の倍増を目指しています。

Q

人材ビジネスの将来性についてどのように思われますか？

A

現在の日本は大変な不況期であると思います。労働市場も規制緩和は進んでいますが、まだまだ足りません。もっと規制緩和して我々のような民間の活力を活かす市場にすれば労働力の移動が自由になり、日本全体の活力も出てくるのではないのでしょうか。日本の活力を生み出す為にも、人材ビジネスの将来性は大きいと信じています。

Q

システム投資と人事制度についてお聞かせ下さい。

A

当社にとって、システム投資は重要な課題です。商品の多様化や複雑化、社員増によって事務、管理業務が増大することに対する効率化投資であり、ほぼ今期中に導入予定です。次に営業支援システムでこれは来期導入予定です。人事評価制度も業績を重視しつつ、社員の特性と適性を重視した制度として来期から導入予定です。

Q

新規事業についてはどのように取り組んでいますか？

A

- 中国プロジェクト室開設  
「中国進出の為の人事・労務セミナー」を開催しました。予想を上回る反響を戴き、来春の中国進出を視野に入れた中国向け人材ビジネスのビジネスモデルを構築していきます。
- 株式会社クイック・ベンチャーサポート設立  
主として株式公開支援事業として人材支援と業務サポートを目的に100%子会社として設立しました。公開業務の実務者派遣はユニークなビジネスとして注目されています。

Q

中期経営計画とその見通しについて

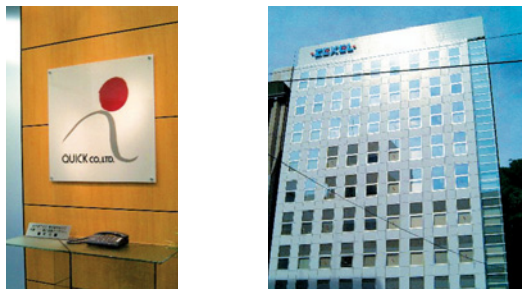
A

景況感が大変厳しい中、企業の求人ニーズは高度化、多様化、効率化が進み、求職者や転職希望者にとっては厳しい状況が続いています。当社は、企業と個人の双方のニーズをいち早くつかみ、ビジネスに反映させてまいります。当社が注力している人材紹介部門は未だ果実は十分とは言えませんが、次の収益となるべく、経営資源を投入し中期経営計画を達成していきたいと考えています。

# TOPICS

## 上半期トピックス&下半期事業予定

### 東京人材紹介部移転



首都圏での人材紹介部門の営業力強化・拡大のため、紹介部門の単独事業所として移転いたしました。

### 新横浜営業所新設



地域に特化したリテール広告を目指した、リクルーティング広告の営業所です。

### 大阪経済大学記念講演会



大阪経済大学の創立70周年記念講演会に和納社長がゲストとして招かれました。

### 個人投資家向け会社説明会



名古屋で初の個人投資家向け会社説明会を開催しました。

### 今後(下半期)の主な事業予定

- 東京支社内に「フロムA品川サービス」を設置し、求人広告における増大するアルバイト・パートのマーケットへのアプローチとリテール営業強化を図ります。
- IT関連事業の主力サイト「人材バンクネット」が10月より大幅リニューアルされます。これにより求職者・求人企業・人材紹介会社の利便性が大幅に向上され、参画社数の増大が見込まれます。



### 当社事業風景の一部



(東京人材紹介部)  
データベースの検索や面談の為の準備をしています。



(大阪リクルーティング営業部)  
キャンペーン中のオフィスは活気にあふれています。



(東京リクルーティング営業部)  
広告部門は毎日がメー切、あわただしい日々です。



(クイックUSAオフィス) 人と情報とビジネスを結ぶ海外拠点です。クイックUSA会議風景



富山県にある平村保養所は、世界遺産に指定されており、文化遺産の保存活動をしています。

# 決算概要（連結）

## 貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	1,661	1,732
現金及び預金	569	705
受取手形及び売掛金	663	708
有価証券	351	241
繰延税金資産	29	27
その他	54	58
貸倒引当金	△ 7	△ 8
固定資産	807	585
有形固定資産	262	263
建物及び構築物	106	108
土地	134	134
その他	21	21
無形固定資産	24	16
投資その他の資産	519	304
投資有価証券	208	33
繰延税金資産	86	87
その他	240	210
貸倒引当金	△ 15	△ 26
繰延資産	0	0
資産合計	<b>2,468</b>	<b>2,318</b>

Point  
①

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	793	934
買掛金	498	559
短期借入金	30	40
1年以内返済予定長期借入金	58	61
未払法人税等	19	78
賞与引当金	75	75
その他	110	119
固定負債	176	249
長期借入金	57	116
退職給付引当金	2	—
役員退職慰労引当金	116	133
負債合計	<b>970</b>	<b>1,184</b>
<b>(資本の部)</b>		
資本金	328	232
資本剰余金	248	86
利益剰余金	936	816
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 2
自己株式	△ 15	—
資本合計	<b>1,498</b>	<b>1,133</b>
負債及び資本合計	<b>2,468</b>	<b>2,318</b>

Point  
②

## 損益計算書

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	前中間期 (平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
営業収益	<b>2,469</b>	<b>2,596</b>
営業費用	2,424	2,409
営業利益	45	187
営業外収益	11	4
営業外費用	3	13
経常利益	53	178
特別利益	8	—
特別損失	0	—
税金等調整前中間純利益	61	178
法人税、住民税及び事業税	20	75
法人税等調整額	7	△ 1
中間純利益	<b>34</b>	<b>103</b>

5

## 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	前中間期 (平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
税金等調整前中間純利益	61	178
その他	△ 69	△ 21
小計	△ 7	156
法人税等の支払額	△ 129	△ 189
その他	△ 1	△ 2
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 137	△ 34
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 252	60
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 121	△ 159
現金及び現金同等物の減少額	△ 512	△ 133
現金及び現金同等物の期首残高	1,393	789
現金及び現金同等物の中間期末残高	<b>881</b>	<b>655</b>

Point  
①

# 決算概要（単体）

## 貸借対照表

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	1,558	1,655
現金及び預金	497	673
受取手形及び売掛金	618	651
有価証券	351	241
繰延税金資産	25	24
その他	72	72
貸倒引当金	△ 7	△ 8
固定資産	810	587
有形固定資産	259	257
建物	105	106
土地	134	134
その他	19	15
無形固定資産	14	10
投資その他の資産	536	320
投資有価証券	176	21
繰延税金資産	84	86
その他	291	239
貸倒引当金	△ 15	△ 26
資産合計	2,368	2,243

Point  
①

### Point解説

Point① …… 安全性の高い債券投資が増加しました。

Point② …… 資本の増加は昨年10月の上場時の公募増資によるものです。自己株式の増加は自社株式取得の実施によるものです。

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前中間期 (平成13年9月30日現在)
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	729	869
買掛金	460	515
短期借入金	30	40
1年以内返済予定長期借入金	58	61
未払法人税等	13	71
賞与引当金	66	68
その他	100	112
固定負債	176	249
長期借入金	57	116
退職給付引当金	2	—
役員退職慰労引当金	116	133
負債合計	906	1,119
<b>(資本の部)</b>		
資本金	328	232
資本剰余金	248	86
利益剰余金	901	807
その他有価証券評価差額金	△ 0	△ 2
自己株式	△ 15	—
資本合計	1,462	1,123
負債及び資本合計	2,368	2,243

Point  
②

## 損益計算書

（単位：百万円）

科目	当中間期 (平成14年4月1日～ 平成14年9月30日)	前中間期 (平成13年4月1日～ 平成13年9月30日)
営業収益	2,216	2,348
営業費用	2,186	2,177
営業利益	29	171
営業外収益	21	5
営業外費用	3	13
経常利益	48	163
特別利益	8	—
特別損失	0	—
税引前中間純利益	56	163
法人税、住民税及び事業税	13	69
法人税等調整額	8	0
中間純利益	34	94
前期繰越利益	9	6
中間未処分利益	44	100

## 会社概要

社名	株式会社 クイック
本社所在地	大阪市北区中津1-11-1
設立	1980年9月19日
資本金	3億2,800万円
代表者	和納 勉
主な事業内容	リクルーティング広告取扱い、人材紹介、業務請負や特定派遣のアウトソーシング、 人事・組織コンサルティング
事業所	大阪、東京、名古屋、横浜、NY
従業員数	132名(9月末)
関連会社	株式会社 アイ・キュー QUICK USA, INC.

## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
配当金支払株主確定日	利益配当金 3月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社証券代行部
(連絡先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話:03-5391-1900
同取次所 (お知らせ)	三菱信託銀行株式会社 全国各支店 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、 および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人の フリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますのでご利用下さい。
1単元の株式の数	1,000株
単元未満株式の買取り	上記名義書換代理人の事務取扱場所および同取次所でお取り扱いいたします。



人・未来・・・

株式会社 クイック

JASDAQ  
(証券コード4318)

〒531-0071 大阪市北区中津一丁目11番1号 中津センタービル  
電話:06-6375-0061

<http://919.jp>